

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20229006	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	赤痢菌の腸粘膜バリアー感染戦略の 解明	研究代表者 (所属・職)	笹川 千尋（東京大学・医科学研究 所・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>赤痢菌による腸粘膜感染の分子機構、特に宿主細胞に注入されるエフェクター分子の解明に関して、いくつかの新しい知見を得ることに成功しており、その成果も世界的レベルの学術雑誌などに報告していることから、研究は目標に向けて順調に進展している。ただし、当初に目標として挙げられた4つの研究計画は、それぞれの進展の度合いに差がある（研究進捗状況報告書では細胞内バリアー適応戦略の解明に関する記載がない）ようである。</p> <p>今後はこれまでの研究成果を発展させる形で、細胞レベルでの実験を繰り返すだけでなく、動物モデルの確立を通じて、最終的には細菌性赤痢という疾病を制圧するための新たな道筋を示すことができるような研究成果を挙げられることを期待したい。</p>	